

2021年1月15日
株式会社産業経済新聞社
株式会社フジテレビジョン

「産経新聞・FNN 合同世論調査」の再開について

産経新聞とFNN(フジニュースネットワーク)は、コールセンター責任者によるデータの不正入力を受けて中止していた合同世論調査を再開することにいたしました。

データの不正入力は、世論調査業務を委託していた調査会社が契約に反し業務を再委託していた会社で2020年6月に発覚したものです。産経新聞とFNNは直ちに世論調査を中止し、不正が行われた期間の放送と記事をすべて取り消しました。外部専門家も含めた合同調査チームによる調査の結果、不正入力は2019年5月から2020年5月までの調査14回すべてで行われ、合わせて1万4636サンプルのうち、12.9%にあたる1886件が不正データであることが確認されました。

産経新聞とFNNは、複数の調査会社関係者や世論調査に詳しい専門家などへのヒアリングを重ねた上で、この度、以下の不正防止策を策定し、世論調査を1月中旬に再開することにいたしました。

- 産経新聞とフジテレビの担当者が調査に立ち会い、モニタリングする
- 全ての調査票のやりとりについて不正入力や誤入力がないことを二重・三重にチェックして確認する
- 調査会社は調査結果と紐付いた通話の詳細な記録を産経新聞とFNNに提出、また調査会社は通話記録を一定期間保管する
- 調査の再委託は認めない
- 世論調査担当部署を強化する

私どもは今回の世論調査不正を非常に深刻なものと受け止めており、改めて読者と視聴者の皆さまにお詫び申し上げます。世論調査の再開にあたり、今回策定した不正防止策を徹底して実行することで読者と視聴者からの信頼を回復していきたいと考えております。